



西中だより

教育目標

豊かな人間性を培う
創造 自律 敬愛 健康

令和7年8月28日発行
第5号

「チャレンジする2学期に」

余市町立西中学校長 豊田 一正

今年は厳しい暑さと自然災害に悩まされた夏でした。7月の終わりには全国に津波警報が発表されました。私はその時、野球の全道大会の応援のため函館に居たのですが、会場に向かおうとした時に大きなサイレンが鳴り響きました。「津波が来ます。避難してください!」という何度も繰り返されるアナウンスとサイレンの音は恐怖でした。とりあえず、海岸から離れた公園の駐車場に避難すると自分と同じことを考えている車が何台もありました。結局、会場に行くことができず、その日の試合も中止となり、楽しみにしていた試合を諦め、戻って来ました。8月に入ると、大雨による被害が九州や東北、北海道にも見られました。ニュースで被害の映像が何回も流れる度に自然の力の脅威を感じました。ところで「線状降水帯」という言葉は昔からあったのでしょうか。最近をよく耳にする言葉になってしまいました。この他にも、北海道ではクマによる被害が続き、痛ましい事故も起こるなど、改めて、不測の事態が起こった時にどう対応すべきかを考えさせられる機会となりました。

さて、学校では2学期がスタートしました。25日に始業式を行い、生徒は元気な姿を見せてくれました。残暑に負けず、充実した2学期にしてほしいと思います。

始業式では、「チャレンジする2学期にしよう!」と伝え、そのために意識してほしいこととして「自分に自信を持ってほしい」、「仲間とともに高め合ってほしい」ということを中心にお話しました。自分の「良さ」を前向きに考えてほしいことや、自信は何もせずに身につくものではないこと、何かをやり遂げたり、努力した時、頑張った時に実力や自信がつくことを話しました。

また、先生や友だちが「認めてあげる」ことが大切なので、頑張る人はどんどん応援してあげ、それを刺激に互いに高め合ってほしいということをお話しました。「頑張ろう!」「やってみよう!」という前向きな良い雰囲気や一人ひとりが意識し、学級や学校全体に広げていくと、認め合いや高め合う雰囲気が広がり、学校生活がより充実したものになります。



2学期は、3年生は進路選択や受験が近づいてきます。1, 2年生も高校入試は中学3年間の学習内容が出題されるので、学習に力を入れ、今できることにベストを尽くさなければなりません。行事では、学校祭があります。仲間と力を合わせ自主的・積極的に行動し、楽しい思い出を多くつくってほしいと思います。そして、話の最後には、2学期が始まり、悩みや不安なことがある人は一人で抱え込まないで、話しやすい先生、友だちに相談してほしいということをお伝えしました。

以上のようなことをお話しましたので、ご家庭でも2学期のスタートにあたり、お子さんとの話題にし、背中を押していただけると嬉しいです。

話しは変わりますが、夏休み前の学校評価へのご協力ありがとうございました。アンケート結果から学習面や家庭学習の定着、粘り強さなどに課題が見られました。今後、具体策を考え、全教職員で改善に向けて取り組んでまいります。また、今年度から紙での提出を止め、全てQRコードでスマホ等での回答としましたが、残念なことに提出率はよくありませんでした。12月にも行いますので、よろしくお願いします。



2学期は学校祭や3年生の「余市町への提言」、参観日、3年生は二者面談と三者面談がありますので、多くの保護者の皆様のご来校をお待ちしております。学校と家庭が連携していくためには情報を共有し、お互いのことを理解することが大切だと思います。どんどん生徒や学校の様子を見に来てください。また、疑問や不安な点がありましたらいつでもご相談ください。よろしくお願いいたします。